

エントリー・出願の際は、必ず募集要項(冊子)を入手してください。

令和 6 年度

総合型選抜(SS)入試 学生募集要項



国立大学法人 **鹿屋体育大学**
National Institute of Fitness and Sports in KANOYA

目 次

1	学部、課程及び募集人員	1
2	出 願 資 格	1
3	選抜日程等	2
4	選 抜 方 法	2
5	エントリー・出願	4
6	面 談	6
7	試 験 場	6
8	合格者の発表	6
9	入学確約書の提出	6
10	総合型選抜（SS）入試不合格者の取扱い	6
11	入学手続・入学料等	6
12	入学手続についての留意事項	7
13	障害のある者等の事前相談	8
14	その他	8
	◆問い合わせ先	8
	◆入試情報の提供	8
	◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法	8
	◆本学までの主な交通経路	9
	◆鹿屋体育大学位置図	10
	◆入学前教育について	10
	◆情報端末必携化について	10
	◆入学検定料の払込取扱票等の記入について	11

【添付書類】

- ① エントリー及び入学願書
- ② 自己推薦書
- ③ 競技歴調書
- ④ 推薦書
- ⑤ 受験票・写真票
- ⑥ 健康調査票
- ⑦ 志願者あて名シール
- ⑧ 払込取扱票
- ⑨ 【入学検定料振替払込受付証明書（お客様用）】貼付用台紙
- ⑩ 入学試験関係書類在中封筒（黄色）
- ⑪ 出願用封筒（薄緑色）

入学料特別免除制度

「競技成績が特に優秀な者」を対象とした入学料特別免除制度を設けております。

エントリー・出願から合格・入学手続まで

受験者
(志願者)

エントリー・出願受付期間
令和5年9月1日(金)～9月15日(金)

大学

エントリー・出願書類

提出 (①エントリー・出願)

出願資格確認

②面談 (本学指導予定教員がエントリー・
出願者に連絡のうえ面談)
9月1日(金)～9月15日(金)

③面談の実施を確認のうえ出願受理
(9月15日(金)必着)

④第1次選考 (競技歴及び意欲等審査)

⑤第1次選考合否通知

⑥第2次選考 (「プレゼンテーション＋口頭試問」
試験・健康診断) 10月19日(木)

⑦第2次選考合否通知・合格者発表 11月1日(水)

送付

入学手続書類

入学手続期間 令和6年2月8日(木)～2月14日(水)

入学手続書類

提出

入学
前
教
育

令和6年度 鹿屋体育大学 総合型選抜(SS)入試学生募集要項

鹿屋体育大学の使命・教育理念

1981年に開学した国立大学唯一の体育系単科大学である鹿屋体育大学は、スポーツ・武道及び体育・健康づくりの分野において実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー・指導者を養成することを使命とし、本学の教育課程を核に、社会人としての豊かな教養の涵養や将来を展望し、勤労観・職業観を醸成しつつも、体育学に関してあらゆる専門性の深化と充実を目指します。

アドミッション・ポリシー（AP）求める学生像

- ① 体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生
- ② 自己表現ができる学生
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生
- ③ 新たな課題に挑む意欲のある学生
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生

入学試験の基本方針

- ・スポーツ・武道の分野で極めて優れた競技能力を有し、近い将来国際大会等で活躍しうる資質について競技実績により判断します。
- ・本学への明確な志望動機や入学後の競技や学生生活に関するビジョンのほか、リーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて自己推薦書や「プレゼンテーション＋口頭試問」試験により判断します。

※ SS とは、スーパー・スチューデント（Super Student）の略で、競技能力の特に高い者を指します。

1 学部、課程及び募集人員

学 部	課 程	募 集 人 員
体 育 学 部	スポーツ総合課程	10人
	武 道 課 程	5人
合 計		15人

(注) 第1次選考合格者が募集人員を超えた場合は、「3 選抜日程等」に記載のエントリー・出願受付期間内であっても、募集（エントリー・出願受付）を締切ることがあります。

合格者が募集人員に満たなかった場合は、学校推薦型選抜の合格者で補充します。

スポーツ総合課程

トップレベルのアスリートの育成や科学的サポート、ジュニア期からの一貫指導、生涯にわたるスポーツ・健康づくりのコーディネートなどに関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、自身の進路選択に合わせて講義や実技を履修することができます。

武道課程

武道に関心を持ち、同分野で指導者や競技者を目指す者を育成することを目的とした教育課程を編成しており、当該課程を専攻する者は、武道に関する講義や実技（柔道、剣道）を必ず履修することになります。

上記を参考に本学の課程を選択してください。

2 出願資格

総合型選抜（SS）入試に出願できる者は、次の(1)～(6)のすべてに該当し、かつ、エントリー及び入学願書を提出の上、面談を受けた者でなければなりません。

(1) 次の各号のいずれかに該当する者

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(2) 合格した場合、入学を確約することができる者（本学を第1志望とする者）

(3) 本学への志望動機が明確であり、将来、スポーツ・武道の分野で、社会に貢献する意欲を有する者

(4) スポーツ・武道の競技種目で、極めて優れた競技力を有し、その競技種目で本学において積極的・継続的に向上を目指す者又は極めて高度な専門的知識・技能を身に付けた指導者を目指す者

(5) 競技歴が以下のいずれかに該当する者

- ① オリンピック、世界選手権、アジア大会等の各種国際大会への出場者
- ② 全日本ユース・ジュニアの代表選手又はそれに相当する者
- ③ 日本選手権大会でベスト8以上の競技成績を有する者
- ④ 全国高等学校大会で2位以上の競技成績を有する者

(注) ア ①の国際大会には、交流試合・親善試合は該当しない。

イ ②～④は、令和3年4月1日以降の競技歴とする。

ただし、大会の開催初日が令和3年4月1日以降のものに限る。

ウ ③及び④に該当する競技種目が団体競技の場合は、当該試合にレギュラーとして出場し、中心的に活躍した選手とする。

(6) 調査書の全体の評定平均値が3.0以上の者

3 選抜日程等

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入学者選抜試験については、やむを得ず、試験期日等を変更する緊急措置を実施する場合があります。その場合は本学ホームページで公表するとともに、出願者に対して個別に通知いたします。

エントリー・出願受付 (本学指導予定教員経由、詳細は「5 エントリー・出願」4頁参照)	令和5年 9月1日(金)～ 9月15日(金) (注) エントリー・出願受付期間内であっても、第1次選考合格者が募集人員を超えた場合は、募集(エントリー・出願受付)を締切ることがあります。
面 談	
第1次選考(競技歴及び意欲等審査)	エントリー・出願後、書類の内容をもとに審査を行います。
第2次選考(「プレゼンテーション＋口頭試問」試験・健康診断)	令和5年10月19日(木) 9:00～12:00
合 格 者 発 表	令和5年11月1日(水)

◎総合型選抜(SS) 入試選考の流れ

①エントリー・出願(本学指導予定教員経由)→②面談→③出願受理→④第1次選考(競技歴及び意欲等審査)→⑤第1次選考可否通知→⑥第2次選考(「プレゼンテーション＋口頭試問」試験・健康診断)→⑦合格者発表(「エントリー・出願から合格・入学手続まで」を参照)

4 選抜方法

総合型選抜(SS)入試は、本学が行う第1次選考(競技歴及び意欲等審査)及び第2次選考(「プレゼンテーション＋口頭試問」試験・健康診断)により選抜します。

なお、大学入学共通テストは課しません。

合否判定の基本方針

1 第1次選考

自己推薦書、競技歴調書、調査書、推薦書及び面談報告書を総合的に判定し、合格者を決定します。

2 第2次選考

①「プレゼンテーション＋口頭試問」試験及び健康診断の結果を総合的に判定し、合格者を決定します。

② 次の事項に該当する者については、不合格とします。

ア「プレゼンテーション＋口頭試問」試験における最終評価が「1」の者

イ 合否判定の時点で、怪我等の身体的理由により、将来的に競技歴評価に相当する技量が見込めない場合

(1) 第1次選考(競技歴及び意欲等審査)

志願者が提出した自己推薦書、競技歴調書、調査書等を総合的に評価します。

(2) 第2次選考(「プレゼンテーション＋口頭試問」試験・健康診断)

第1次選考合格者に対して、「プレゼンテーション＋口頭試問」試験及び健康診断を行います。

①「プレゼンテーション＋口頭試問」試験

(ア) プレゼンテーションのテーマ

受験者は、自身の「高校時代の競技成績と大学入学後の取り組み」に関して、現在の競技力(実績)を踏まえて、以下のテーマでプレゼンテーションをしてください。

「競技力を大学でさらに向上させるためにはどのような取り組みが必要か」

(イ) プレゼンテーション実施方法における留意事項

上記テーマに基づき、3分間のプレゼンテーションを行います。なお、以下のいずれかの方法で行ってください。

A. 作成した資料を備え付けのホワイトボードに掲示してプレゼンテーションする。

B. 作成した資料を備え付けのホワイトボードに掲示し、資料やホワイトボードに説

明を書き込みながらプレゼンテーションする。

C. 資料を掲示せず、備え付けのホワイトボードに説明を書き込みながらプレゼンテーションする。

D. 口頭のみでプレゼンテーションする。

(ウ) ホワイトボードの大きさは、縦 865 mm×横 1760 mmとする。

(エ) プレゼンテーションにおけるその他の留意事項

○掲示用の資料は、表、グラフ、画像等も含め、全て手書きのもののみを準備してください。

また、資料の 1 つあたりの大きさは、縦 865 mm×横 1760 mm以内とします。

○試験員までの距離は約 2.5 mありますので、資料作成の際の参考（文字の大きさ等）としてください。

○資料を試験員に配付することは不可とします。

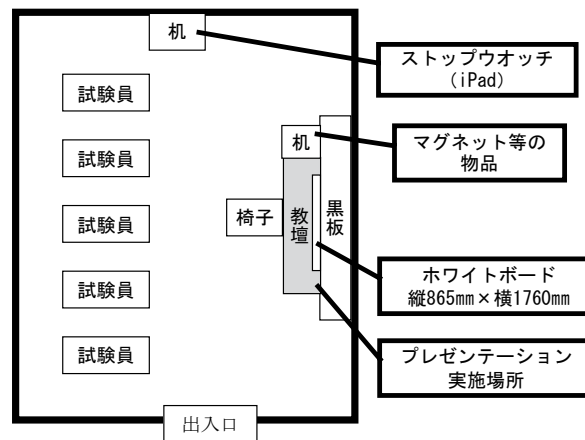
○掲示用以外の資料（メモ等）の持ち込みは不可とします。

○プレゼンテーションを行う際は、試験室に準備されている以下の物品を使用することができます。

- ・ホワイトボード用マーカー
- ・マグネット
- ・指示棒

「プレゼンテーション+口頭試問」

試験室内配置図



(オ) 口頭試問の内容

プレゼンテーション及び提出資料（自己推薦書）の内容に基づいて、7 分間の質疑応答を行います。

※「自己推薦書」は、「本学を志望した理由」、「入学後の目標・抱負」、「将来の夢」の 3 項目であり、これを「志願者本人が記載する資料」として、口頭試問の際の資料とします。

(カ) 評価の方法

複数人の試験員により 5 段階で評価します。なお、「プレゼンテーション+口頭試問」試験における最終評価が「1」の場合は不合格とします。

② 健康診断

入学後の競技生活における支障の有無を確認するため、「プレゼンテーション＋口頭試問」試験当日、受験者全員に健康診断を実施します。

内容は、健康調査票による問診と心電図並びに心臓超音波検査を行います。

ア 整形外科的な外傷や障害のため医療機関から活動制限を指導されている者

整形外科的な外傷や障害のため医療機関から活動制限を指導されている者は、その病名及び活動制限に関する内容を含む診断書を、その他の出願書類と一緒に提出してください。

イ 内科及び外科的な疾患に伴い、定期的に医療機関を受診し、検査や治療を継続している者

内科及び外科的な疾患に伴い、定期的に医療機関を受診し、検査や治療を継続している者は、スポーツ活動の制限の有無や、病状及びこれまでの治療経過に関する診断書を、その他の出願書類と一緒に提出してください。（但しアレルギー性鼻炎・結膜炎やアトピー性皮膚炎は除く。）

上記事項に関する質問がある場合は、本学へお問い合わせください。

また、出願期間後に、上記にあたる外傷・障害や疾病を発症した場合、本学に電話での相談をお願いいたします。

5 エントリー・出願

(1) エントリー・出願方法

エントリー・出願は、本学指導予定教員経由としますので、本学指導予定教員へ必ず連絡した上で、エントリー・出願してください。

なお、指導予定教員がわからない場合は下記の照会先に問い合わせてください。

エントリー・出願受付期間と併行して面談等を実施しますので、できるだけ早くエントリー・出願を行ってください。

エントリー・出願希望者は、本学指導予定教員に連絡の上、次頁のエントリー・出願書類を一括し、本要項に添付の出願用封筒（薄緑色）を用いて必ず書留速達にて郵送してください。直接持参しても差し支えありません。

なお、エントリー・出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので十分注意してください。

また、エントリー・出願書類受付後は、記載内容の変更を認めません。

(注) エントリー・出願された際の自己推薦書、競技歴調書は、出願書類（審査の対象）として取り扱いますので、記入漏れ、間違い等に十分注意して記入してください。

(2) エントリー・出願受付期間 令和5年9月1日(金)～9月15日(金)とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日(振替休日を含む。)は受付を行いません。

② 郵送の場合は9月15日(金)17時15分必着とします。

(注) エントリー・出願受付期間後は一切受理しませんので、郵送する場合は郵送期間を十分に考慮してください。

(3) エントリー・出願書類等の提出先及び照会先

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

鹿屋体育大学アドミッションセンター（教務課入試係）

TEL 0994-46-4869

FAX 0994-46-2533

E-mail nyushi@nifs-k.ac.jp

提出書類等	摘 要
エントリー 及び入学願書	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
自己推薦書	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
競技歴調書	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。 競技歴調書に記載した競技成績を証明する資料を必ず添付してください。 (記入に当たっては、「競技歴調書記入要領」(17・18 頁)を参照のこと。)
推薦書	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
調査書	(1) 文部科学省が定めた様式により出身学校長が作成し、 <u>厳封したものを提出してください。</u> なお、廃校・被災その他の事情により調査書の提出が困難な場合は、別途提出の指示を行いますので、エントリー受付期間前までに教務課入試係へ連絡してください。 (2) 高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者を含む。)は、その合格成績証明書をもって調査書に代えます。 なお、高等学校若しくは中等教育学校に在籍したことがある者はその期間の調査書を併せて提出してください。 (3) 専修学校高等課程の学科を修了した者等で、調査書が得られない場合は、当該試験等の成績証明書をもって調査書に代えます。
受験票・写真票	本学所定の様式により必要事項を記入の上、写真(上半身、無帽、正面向きのもので、縦4cm×横3cm、最近3ヶ月以内に撮ったもの。カラー・白黒は問わない。写真の裏面に氏名を記入のこと。)を貼付してください。
健康調査票	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。
診断書 (右記(1)または(2) に該当する者のみ)	(1) 整形外科的な外傷や障害のため医療機関から活動制限を指導されている者は、その病名及び活動制限に関する内容を含む診断書(様式任意)を提出してください。 (2) 内科及び外科的な疾患に伴い、定期的に医療機関を受診し、検査や治療を継続している者(但しアレルギー性鼻炎・結膜炎やアトピー性皮膚炎は除く。)は、スポーツ活動の制限の有無や、病状及びこれまでの治療経過に関する診断書(様式任意)を提出してください。
志願者あて名 シール	本学所定の様式により必要事項を記入の上、提出してください。 また、シールに記載の「殿」は消さないでください。
入学検定料 (17,000 円)	同封している払込取扱票に必要事項を記入(11頁を参照)して、令和5年8月8日(火)以降に郵便局の受付窓口で払い込んでください。ATMやインターネットバンキングからの払込みはしないでください。 なお、振込手数料は、依頼人負担となります。 払込取扱票等の※欄は、志願者本人の住所・氏名・電話番号等を必ず記入してください。 入学検定料を払い込んだ後、振替払込受付証明書(お客さま用)に受付局日附印があることを確認し、所定の台紙に貼付して出願してください。 また、下記の場合以外は、既納の検定料はいかなる理由があっても返還しません。 ア 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合 該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。 イ 検定料を振り込み後、本学にエントリー・出願しなかった場合 ウ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は所定の金額より多く振り込んだ場合 上記イ及びウについては、本人の申し出により納入された検定料及び超過分を返還することができますので、必ず令和5年10月18日(水)までに教務課入試係(電話 0994-46-4869)へ連絡してください。 (注) 第1次選考の不合格者に対しては、本人の申し出により検定料のうち13,000円を返還します。該当者には、第1次選考可否通知の際に「払戻請求書」を送付しますので、書類作成の上、令和5年10月18日(水)までに手続を行ってください。
封筒(黄色) [入学試験関係書類在中]	受験票及び受験者心得等を送付する際に使用しますので、本学所定の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、 <u>郵便切手(400円)を貼付して提出してください。</u> また、封筒に記載の「殿」は消さないようにしてください。

6 面談

エントリー・出願と併行して面談を行います。エントリー・出願書類受付後、面談の実施日、実施場所等を指導予定教員から連絡します。また、後日面談の結果についても連絡します。面談の結果を本学が最終的に確認した場合、出願を受理します。

7 試験場

鹿屋体育大学

所在地：鹿児島県鹿屋市白水町1番地 Tel 0994-46-4869

試験場については、9・10頁の位置図等を参照してください。

8 合格者の発表

(1) 第1次選考可否の通知

エントリー・出願及び面談後第1次選考を行い、受験者に可否の通知書を送付するとともに、合格者に第2次選考に関する資料（受験票等）を同封します。

また、第1次選考の不合格者には、入学検定料の返還方法について、通知します。（詳しくは、5頁の「5 エントリー・出願」提出書類等の『入学検定料』を参照）

(2) 第2次選考合格者の発表

令和5年11月1日(水) 10時

本学ホームページ (<https://www.nifs-k.ac.jp/>) 上で「合格者受験番号一覧表」を発表するとともに、受験者に可否の通知及び関係書類を送付しますので、必ず確認してください。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

9 入学確約書の提出

第2次選考合格者には、合格通知書とともに「入学確約書」を送付しますので、本人及び父母等関係者が連署して、令和5年11月17日(金)までに必ず提出してください。

10 総合型選抜（SS）入試不合格者の取扱い

総合型選抜（SS）入試の結果、不合格となった者は、出願資格を満たせば本学の学校推薦型選抜に出願することができます。

また、一般選抜の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

なお、本学の受験に当たっては、「令和6年度鹿屋体育大学学校推薦型選抜学生募集要項」（令和5年7月下旬から配布）又は「令和6年度鹿屋体育大学一般選抜学生募集要項」（令和5年11月中旬から配布）により再度出願手続を行ってください。

その際、入学検定料17,000円は改めて必要となります。

11 入学手続・入学料等

第2次選考合格者には、入学手続書類を送付しますので(令和6年1月中旬頃)、下記に示す入学手続期間内に入学手続を完了してください。

なお、入学手続期間内に入学手続を完了しないときは、本学の総合型選抜（SS）入試合格者としての権利が消滅するので注意してください。

(1) 入学手続期間 令和6年2月8日(木)～2月14日(水)とします。

① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び国民の祝日（振替休日を含む。）は受付を行いません。

② 郵送の場合は2月14日(水) 17時15分必着とします。

（注）入学手続期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

(2) 提出書類等

- ① 本学総合型選抜（SS）入試受験票
- ② 誓約書
- ③ 写真 1 枚（縦 4 cm×横 3 cm）
- ④ 卒業証明書（入学手続時に提出できない者は、後日速やかに提出すること。）
- ⑤ 大学入学共通テスト受験票（大学入学共通テストの出願をした者に限る。）
- ⑥ その他の書類等（「入学手続等に関する手引き」送付時に通知する。）

(3) 入学科等学生納付金

- ① 入学科 282,000円（予定額）〔(注) エを参照〕
- ② 授業料 ・前期分 267,900円（ 〃 ）
・年 額 535,800円（ 〃 ）

ア 入学科及び授業料については、予定額をお知らせしています。改定があった場合には、随時お知らせします。

イ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

- ③ 諸経費（体育会費，学生教育研究災害傷害保険料，スポーツ安全保険料，同窓会会費等）
80,660円（令和 5 年度入学時実績）

令和 6 年度の諸経費の詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。

(注) ア 入学手続完了者が令和 6 年 3 月 31 日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により諸経費を返還します。

イ 授業料及び諸経費の納入方法については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。

ウ 授業料の納付が著しく困難な者には、授業料免除の制度があります。

詳細については、「入学手続等に関する手引き」送付時に通知します。

エ 「競技成績が特に優秀な者」を対象とした入学科特別免除制度を設けております。

総合型選抜（SS）入試による入学者（全員）は、この「入学科特別免除」の対象となり、入学科料が免除されます。

なお、入学科料免除対象者には、本学より別途通知しますので、本人が手続を行う必要はありません。

12 入学手続についての留意事項

- (1) 本学の総合型選抜（SS）入試合格者が、特別な事情により入学を辞退しようとするときは、その理由を明記した「入学辞退届」（様式自由：本人が作成・署名したもの）を令和 6 年 2 月 14 日（水）までに本学学長宛てに提出してください。「入学辞退届」の提出がない場合は、他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- (2) 本学の総合型選抜（SS）入試合格者で、令和 6 年 2 月 14 日（水）までに入学手続を完了した者は、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の一般選抜を受験することはできません。受験しても合格者とはなりません。
- (3) 本学の総合型選抜（SS）入試合格者で、令和 6 年 2 月 14 日（水）までに入学手続を完了しない者は、本学の総合型選抜（SS）入試合格者としての権利を失います。この場合（「入学辞退届」を提出した者を除き）、国公立大学・学部の一般選抜（個別学力検査等）を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名，受験番号，大学入学共通テストの受験番号，可否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (5) **入学手続の際は、「本学総合型選抜（SS）入試受験票」及び「大学入学共通テスト受験票（大学入学共通テストの出願をした者に限る。）」が必要ですので、紛失しないよう注意してください。**
- (6) 入学手続については、合格者に対して送付する「入学手続等に関する手引き」を参照してください。

13 障害のある者等の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）のある者等で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするものは、エントリー・出願に先立ち、令和5年7月13日(木)までに、あらかじめ本学に電話相談してください。

14 その他

- (1) 入学者選抜に関し、不正な行為又は虚偽の事実があった場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) エントリー・出願書類は返却しません。
- (3) 受験(第2次選考)についての詳細は、出願書類を提出した者に送付する「受験者心得」を参照してください。
- (4) **集合時刻に30分を超えて遅刻した者は、その科目等の受験は認めません。**
- (5) 個人情報の保護に関する法律に基づき、個人情報(出願書類への記載内容及び試験成績)については、入学者選抜に係る業務(追跡調査を含む。)に使用します。
また、授業料免除(猶予)及び奨学金を申請した者にあつては、選考資料として使用します。
- (6) 学生募集要項に関し、不明な点や質問がある場合は、下記の問い合わせ先に照会してください。
なお、電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

◆問い合わせ先：〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学アドミッションセンター（教務課入試係）
Tel 0994-46-4869
Fax 0994-46-2533
E-mail nyushi@nifs-k.ac.jp

◆入試情報の提供

本学公式ホームページ(<https://www.nifs-k.ac.jp/>)で、入試情報等を提供しています。
なお、本学ホームページ上で、「合格者受験番号一覧表」を掲載しますが、必ず合格通知書で確認してください。

◆本人に開示する個人の入試情報の請求方法

本人に開示する入試情報は、調査書（「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄の記載を除く。）です。

申込期間： 令和6年5月1日から6月30日まで
（土曜日・日曜日・国民の祝日(振替休日を含む。)を除く。）

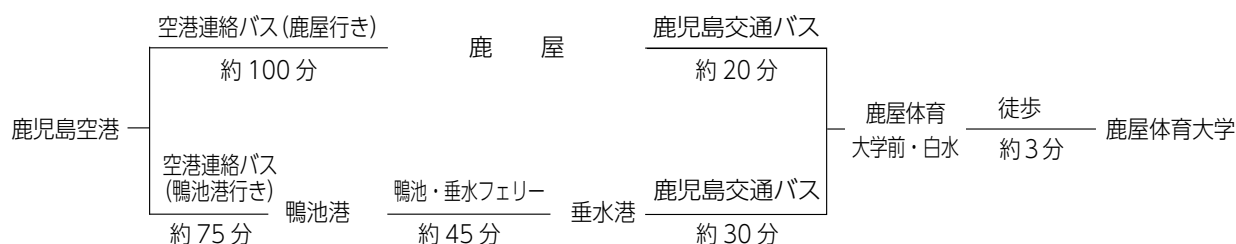
申込方法： 受験者本人が来学の上、申し込んでください。
なお、その際に受験票又は身分を証明できるものと返信用封筒（長形3号に受験者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、404円切手を貼付したもの）を持参してください。

また、来学することが困難な者で、本人である確認が取れた受験者については、郵送等による申込みを受け付けます。

※郵便料金の変更があった場合は、変更後の料金を適用します。

◆本学までの主な交通経路

1 空の便



鹿児島空港からの経路

- ① 鹿児島空港から鹿屋市街地まで空港連絡バス（「鹿屋・東笠之原」行きの1系統のみ）が運行していますので、乗車し、「鹿屋」で下車してください。【所要時間 約 100 分】

「鹿屋」からは「垂水」^{たるみず}、「垂水港」又は「中央病院」行きのバスに乗り「鹿屋体育大学前・白水」^{しろみず}で下車してください。【所要時間 約 20 分】

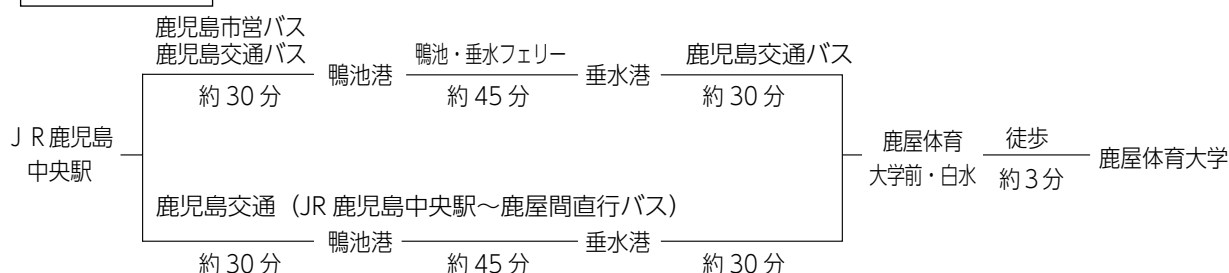
- ② 鹿児島空港から鹿児島市内行きの空港連絡バスが出ていますが、乗車前に行き先が「鴨池港」行きであることを確認の上乗車し、終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約 75 分】

下車した所が鴨池・垂水フェリー発着所となっていますので、そこから「垂水港」行きフェリーに乗船してください。【所要時間 約 45 分】

垂水港からは鹿児島交通のバスが接続していますので、「志布志」又は「東笠之原」行きに乗車し、「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約 30 分】

なお、タクシーを利用した場合、垂水港から本学までの所要時間は約 30 分です。

2 陸の便



J R鹿児島中央駅からの経路

- ① JR 鹿児島中央駅前から鹿児島市営バス又は鹿児島交通バスの「鴨池港」行きに乗車し、終点の「鴨池港」で下車してください。【所要時間 約 30 分】

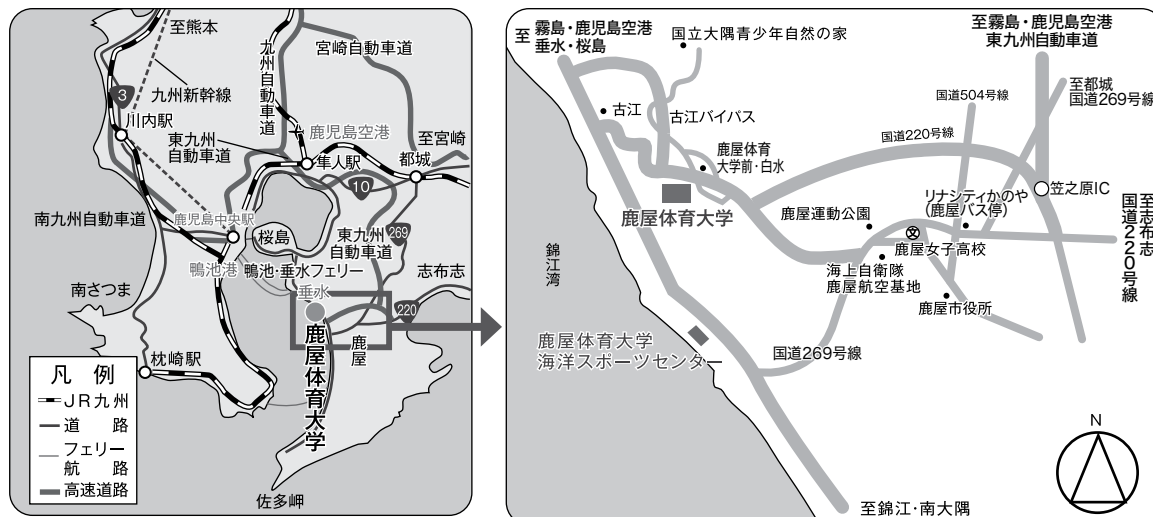
タクシーを利用した場合、JR 鹿児島中央駅から鴨池港までの所要時間は約 20 分です。

なお、鴨池港（鴨池・垂水フェリー発着所）から本学までの経路は、「鹿児島空港からの経路」の②と同じです。

- ② JR 鹿児島中央駅前から鹿児島交通の JR 鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスに乗り、「鹿屋体育大学前・白水」で下車してください。【所要時間 約 105 分】

（注）交通経路によっては、便数が限られていますので、バス等の運行状況（時刻表等）を事前に確認してください。

◆鹿屋体育大学位置図



◆入学前教育について

本学では、入学前に必要な情報交換や、入学前の質問や疑問の解決、さらに入学後の学力サポートを目的に、総合型選抜（SS）入試合格者を対象とした入学前教育を実施しております。

なお、入学前教育の詳細については、合格者の入学確約書提出期限である令和5年11月17日（金）以降に、書面にてお知らせします。

◆情報端末必携化について

本学では、情報活用能力の育成と情報通信技術を活用した実践的指導力を養成するために、情報端末を用いた教育や学習支援を実施しております。

なお、準備いただく情報端末の仕様等の詳細については、令和6年1月中旬頃に送付する入学手続書類をご確認ください。

競技歴調書記入要領

令和3年4月1日以降の成績・記録のうち出願資格に該当する競技歴（「2 出願資格（5）」（1頁）を参照）について記入してください。（ただし、大会の開催初日が令和3年4月1日以降のものに限る。）

記入した成績・記録については、すべてについて証明する資料が必要です。下記にその資料を例示しましたので、競技歴調書に添付して提出してください。

なお、提出に当たっては、現物（原本）ではなく写しとし、すべてA4サイズに統一してください。

- ・表彰状
- ・大会組織委員会発行の公式記録表
- ・国内スポーツ連盟又は都道府県の加盟団体が発行した成績証明書
- ・成績・結果が記載された新聞や雑誌の記事（資料には、当該記事の新聞・雑誌名、日付、ページ等を記載し、本人の氏名・成績等関係する箇所を蛍光ペンでマークすること。）
- ・その他公的資料等

結果の証明については、本人の氏名、成績・記録が記載されているものに限定します。特に団体競技については、1回戦からの出場記録等、本人の活躍がわかる資料を添付してください。

本人の氏名・成績・記録を証明する資料が添付されていない場合、その競技歴は、本人の実績・成果とみなされないの注意してください。

なお、提出された資料は、返却しません。

1 大会区分

- (1) 国際大会
日本代表（ジュニアも含む。）として参加した大会又は日本代表の対象となった大会とします。
※交流試合・親善試合は該当しません。
- (2) 全国大会
裏面の「総合型選抜（SS）入試における出願要件の対象となる全国大会一覧」を参照してください。

2 大会名

本人が当該大会に登録された選手として出場した大会の正式名称（全国高等学校総合体育大会、全国高等学校○○競技選手権大会等）及び区分（個人・団体）を記入します。

3 開催地

記入した大会が開催された都道府県名を記入します。

4 年月日

記入した大会が開催された年月日を記入します。

5 学 年

記入した大会に出場した時の学年を記入します。

6 種目又はポジション（階級及びオーダー）

競技の種類により、次のように記入します。

- (1) 個人競技・種目 陸上競技：100m、水泳：100m 自由形
- (2) 団体競技・種目 サッカー：FW、バレーボール：センター
- (3) 体操競技 男子個人総合、種目別：鉄棒
- (4) 武 道 柔道：個人男子 60kg 級、剣道：男子団体（大将）

7 成 績

優勝、第○位、ベスト○○等の成績の順位を記入します。

8 記 録

タイム、得点、何戦中何勝何敗等の結果を具体的に記入します。

◎総合型選抜（SS）入試における出願要件の対象となる全国大会一覧

種 目	大 会 名
共 通	・全日本選手権大会 ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ・国民体育大会（なお、陸上競技及び水泳については「少年A」、サッカーについては「成年男子」、バスケットボールについては「成年男子・女子」、バレーボールについては「少年男子・女子6人制」を対象とします。）
陸 上 競 技	・日本陸上競技選手権大会・室内競技（シニアの部のみ） ・日本室内陸上競技大会（U20の部のみ） ・日本陸上競技選手権リレー競技大会 ・全国高等学校駅伝競走大会 ・U20日本陸上競技選手権大会 ・全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 ・全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
体 操 競 技	・全国高等学校体操競技選抜大会 ・全日本ジュニア体操競技選手権大会 ・ユースオリンピックゲームズ日本代表決定競技会 ・体操個人総合スーパーファイナル ・世界ジュニア体操競技選手権大会日本代表決定競技会（男子）
水 泳	・日本選手権（25m）水泳競技大会 ・ジャパンオープン ・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
バスケットボール	・全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ）
サ ッ カ ー （ 男 子 ）	・高円宮杯全日本ユースサッカー選手権大会 ・全日本クラブユースサッカー選手権大会 ・全国高校サッカー選手権大会
テ ニ ス	・全国選抜高等学校テニス大会 ・全日本ジュニアテニス選手権（18歳以下の部を対象とします。） ・JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会
バ レ ー ボ ール	・全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）
ヨ ッ ト	・JOC ジュニアオリンピックカップ（ユース部門）
ボードセーリング	・ワールドセーリングユースワールドセーリングチャンピオンシップ日本代表選手選考レース
ボ ー ト	・全日本新人選手権大会
カ ヌ ー	・文部科学大臣杯日本カヌースプリントジュニア選手権大会（学年別ベストナイン認定は該当しません。） ・日本カヌースプリントジュニア・ジュニアユース小松大会
自 転 車 競 技	・全日本選手権大会トラック・レース（ジュニア） ・全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会（U17の部は対象としません。） ・全日本自転車競技選手権大会ロード・レース（U17の部は対象としません。） ・全国高等学校選抜自転車競技大会 ・全国都道府県対抗自転車競技大会
柔 道	・金鷲旗高校柔道大会 ・全国高等学校柔道選手権大会 ・全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
剣 道	・全日本都道府県対抗剣道優勝大会 ・全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 ・玉竜旗高校剣道大会 ・全国高等学校剣道選抜大会
なぎなた（女子）	・全国高等学校なぎなた選抜大会
そ の 他 の 種 目	・全国高等学校選抜大会 ・全国高等学校選手権大会 ・全国ジュニア大会 ・全国都道府県対抗大会 ・その他上記大会と同等と判断される大会

※ 主催者の都合により上記大会の名称が一部変更になることがありますが、同一の大会であれば対象の大会として取り扱うこととします。

**エントリー・出願の際は、必ず募集要項（冊子）を
入手し、添付されている願書等によりエントリー・出
願してください。**

総合型選抜（SS）入試学生募集要項（冊子） 添付書類

- ① エントリー及び入学願書
- ② 自己推薦書
- ③ 競技歴調書
- ④ 推 薦 書
- ⑤ 受験票・写真票
- ⑥ 志願者あて名シール
- ⑦ 払込取扱票
- ⑧ 【入学検定料振替払込受付証明書（お客様用）】貼付用台紙
- ⑨ 入学試験関係書類在中封筒（黄色）
- ⑩ 出願用封筒（薄緑色）